

◀ 10月の活動報告 ▶

(当初予定していた活動)

I 遊楽館退所者のフォロー

- Sさん：毎週末ごとに電話連絡し、安否確認を行っている
退所直後は、パニック障害からか不安定で、自殺願望も聞かれたが、10月半ば以降安定している。
10/27 河南エリアミーティングにて多職種と協議し、本人の了解を得た上で、電話でのフォローは役割を終える予定
- 退所時連携先からは、特別な連絡なし

II 社会福祉士等相談支援事業（石巻市からの委託事業）：医療福祉・生活相談会

10/9 開成ささえあい拠点センター

10/15・16 大橋ささえあい拠点センター

10/22・23 蛇田ささえあい拠点センター

10/29・30 万石ささえあい拠点センター

- ・開催準備として、ポスター・チラシの作成および掲示・各戸ポスティング（各回 250～800 戸）
- ・1回目・2回目は、「医療福祉相談会」として相談会形式で行ったが、来談者は少なく、住宅に関する相談が主
- ・3回目は、「茶話会」形式で行い、8名の参加あり
- ・4回目は、茶話会目当てに来られた方が1名、その他相談会に来られた方が2名いらした
- ・現在、拠点センターで実施しているが、11月以降小規模仮設住宅での開催予定

(その他の活動)

渉外関係

	連携先	具体的内容（回数省略）
石巻市役所・総合支所	仮設住宅運営管理室	・医療福祉相談会開催計画及び場所の予約 ・相談会で挙げた相談内容の報告と相談
	障害福祉課	・グループホーム的仮設住宅運営受託に関する相談
	介護保険課	
	福祉総務課	
	健康推進課	・保健師さんへの挨拶 ・具体的連携方法についての相談と「医療ソーシャルワーカー（社会福祉士等）のご案内」の提出
市民協働推進課	・コミュニティ（自治会）形成への関わりについて協議	
関係医療機関	市立病院 阿部師長	・仮設住宅巡回相談での課題をヒアリングと相談 ・ケース対応方法のコンサルテーション
	石巻赤十字病院 医療社会事業課長・SW	・ご挨拶
	斉藤病院 SW	・震災後のご対応について及び・協会として継続支援をすることの説明と地域SWから協会の支援に求めることについてヒアリング
	石巻港湾病院 SW	

	祐ホームクリニック石巻 事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース依頼 ・ 連携方法について相談 ・ 石巻市内の住宅事情について情報収集
	* 穂波の郷クリニック SW (古川市を拠点に活躍されているSWさんです)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地の活動内容をヒアリング ・ 地元の協力者について情報収集
その他	からころステーション (震災心のケア・ネットワークみやぎ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開所式への出席 ・ 宮城クリニック院長・臨床心理士へご挨拶
	ネトボラ事務局	・ hp パソコンの継続貸与について調整
	河南西在宅介護支援センター ケアマネジャー	・ ご挨拶
	ふかふかハウス (GH) 施設長	・ 協会支援活動の説明

▼市関係者からは、

1. 9/30 以降、障害福祉課はじめ関連 5 課より、開成地区に建設した「グループホーム的仮設住宅」の運営管理の委託を打診されていましたが、協会が「公益社団法人」であるため、運営受託が困難との見解
⇒10/22・23 理事会にて「相談支援部門」については可能な限り活動するとの方針が出されました
それを持って、11/4 再度市関係課と協議していきます。
2. 週末ごとに行っている茶話会《医療福祉・生活相談会》の報告から、コミュニティ形成に対してもSWとして介入していけることをお伝えした所、仮設住宅運営管理室・市民協働推進課より、行政委員さんとの協働での活動を打診されました
⇒11 月以降取り組んでいきます。

▼現地専門職からは、

- ・ 仮設住宅への入居が一気に進み、訪問・巡回相談をしているが、生活課題（経済的なこと、家族のこと）の相談があった際に、どこに・どのように相談したらよいか分からない
 - ・ 仮設住宅ではなく、自宅等で在宅生活を継続されている住民への支援は少ない
- との声があがり、SWの介入依頼もきかれた
⇒「医療ソーシャルワーカー（社会福祉士等）のご案内」を作成し、仮設住宅運営管理室・石巻市健康推進課へ提出し、仮設住宅で活動されている多職種への周知を依頼しました。又、祐ホームクリニックへも情報提供しました。

▼石巻市内の病院のSWからは、

- ・ 病院のことが手一杯でなかなか地域が見られていなかったなので、地域の状況を教えて欲しい
 - ・ SW同士での情報共有をしたい
 - ・ 仮設住宅に退院される患者さんのフォローアップが必要だと思うが出来ていないので、お願いしたい
- とのお話をいただいた。協会の活動継続については好意的な印象

今後の活動の柱（石巻現地）

※別紙「東日本大震災災害支援活動の柱（石巻現地）」参照

《 東日本大震災災害支援活動の柱（石巻現地） 》

	対象	支援内容	Todo
遊楽館退所者の フォロー	遊楽館退所者	●退所時の連携先の求めに応じ、必要時に協働を行う (支援方針は、エリアミーティングにて多職種で協議し決定)	
社会福祉士等相談 支援事業： 茶話会《医療福祉・生活相談会》	開催地区の仮設住宅の住民	●来談する住民への相談支援 ●茶話会でのグループワーク ●相談内容に応じて、地域の専門職へつなぐ	▼市仮設住宅運営管理室へ計画／報告書の提出 ▼開催場所の検討及び予約 ▼チラシの作成・ポスティング／ポスターの作成・掲示 ▼他広報活動（ラジオ・市広報紙） ▼会の運営（準備・片づけ含む） ※記録
訪問相談	・市内全域の住民 (仮設住宅・自宅の区別なく) ・市内で活動する医療・福祉関係者 *医療・福祉関係者向けに「医療ソーシャルワーカー（社会福祉士等）のご案内」リーフレット配布済み	●仮設住宅を巡回訪問している、市保健師・市立病院看護師チームから社会的な生活課題がある方について、介入依頼を受け、同行訪問し面接する ●多職種から連携先が分からないなど対応方法が困っているケースについて連絡を受け、介入する ●医療・看護・心のケアの専門職のフォローアップでなくとも、継続支援が必要な方に関わり、必要時必要機関へつなぐ ●市の医療機関・福祉関係者から必要に応じて介入依頼を受け、同行訪問し面接する ●地元MSWからの介入依頼を受け、退院後の患者のフォローアップ訪問をする ※面接・介入時には、ソーシャルワークアセスメントをし、地元の関係機関と連携・協働する	▼リーダー携帯電話にかかってくる電話相談への対応 ▼同行訪問による面接（必要時継続面接） ▼関係機関への連絡調整 ▼地元MSWとの情報共有 ▽ケースカンファレンス・エリアミーティングへの参加は今後検討しています ※記録
コミュニティ形成 支援	市内全域の住民 (対象地区は、仮設住宅運営管理室・市民協働推進課との相談)	●地区民生委員・行政委員との協働しながら、自治会の形成や近隣住民との交流のための支援	▼地区民生委員・行政委員と地区の状況について情報共有し、コミュニティ形成段階の評価・方法の相談 ▼仮設住宅の住民との相談機会の設定や会のファシリテートなど
GH的仮設住宅に おける相談支援	対象者は市内全域の住民	▽詳細は、今後、市担当課との協議によって決まる予定です	